

施策評価シート(令和5年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	施策主管課	生涯学習課
	施策No.	5-4	施策名	地域文化の振興	施策主管 課長名	小林 隆浩
関係課	生涯学習課					

1. 施策の目的

対 象	A 文化財・地域の歴史文化	意 図	A 適切に保存され、その価値を損なうことなく活用されている
	B 地域		B 地域の歴史文化に魅力を感じ、保存・継承している
	C 町民		C 地域の歴史文化を学び、その魅力を情報発信している

2. 成果指標

指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	上段：目標値	下段：実績値
				令和6年度	令和7年度			
①	A 町内文化財の保存・活用事業の件数 (増加) (現状値：H30時点)	件	131	190	190	190	204	207
				126	146	122		
②	B 地域の歴史や文化財に親しむ機会を持った方 の人数 (増加) (現状値：H30時点)	千人	1.25	1.31	1.38	1.44	1.51	1.57
				1.39	1.86	2.3		
③	C 町の歴史文化に興味・関心のある町民の割合 (増加) (現状値：H30時点)	%	10.2	12.5	14	15.5	17	18.5
				7.5	9.9	12.5		
④								

3. 指標の分析 (成果が向上した、またはしなかった理由)

①	コロナの影響等により、地域再発見事業の件数が減少し、総件数としては目標値や前年度実績値より減少となった。
②	令和5年10月に郷土資料館が開館し、地域の歴史や文化財に親しむ機会が増加したことにより、目標値や前年度実績値より大幅な増加がみられた。
③	郷土資料館の開設により、町内の歴史や文化を学び知る拠点ができ、町民が地域の歴史や文化に興味・関心を持つきっかけを持つこととなり、目標値には届かなかったが、前年度実績値を上回った。
④	

4. 課題に対する取組 (今年度重点的に取り組んだ課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年10月に郷土資料館が開館し、町の歴史や文化についての資料収集・保存・継承、情報の収集及び発信の拠点として整備することができた。</li> <li>向羽黒山城跡調査整備事業は、今後の保存活用計画策定に向け、これまでの成果や情報の整理を進めた。</li> <li>芸術文化については、町総合美術展及びジュニア文芸表彰式を再開し、公共ホール音楽活性化事業では地元中学生とのアクティビティとコンサートを実施した。</li> </ul>
--

5. 次年度の方向性 (施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土資料館のさらなる周知に努め、資料収集や町の歴史情報等の調査研究を行い、資料展示として積極的な情報発信を進める。</li> <li>向羽黒山城跡保存活用計画(令和7年度策定)の策定作業を進める。</li> <li>公共ホール音楽活性化事業を実施し、町のホールで身近にプロの音楽家の演奏に触れることができる機会を創出し、町民の文化に対する意識高揚を図る。</li> </ul>
---

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和5年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	5506	地域文化振興事業	2,182	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	16760	遺跡調査・整備事業	568	拡充	現状維持	②生産性改善	○
3	16761	文化財保存・活用事業	28,129	拡充	拡大	①有効性改善	○